

漫湖水鳥・湿地センター

たよひ

2007年6月15日発行

No.47



5月12日 愛鳥週間～いつでも野鳥観察～



5月12日(土)に愛鳥週間にちなんで、講師に山城正邦先生を招き、自然観察会を行いました。

センター前の芝生で双眼鏡の使い方を教わった後6、7人の班に別れ、干潟に向かいました。



あの鳥は何て名前だろう？

図鑑で調べてみようね



干潟に下りるわずかな時間にも色々な野鳥が観察でき、干潟からはミサゴやコアジサシが優雅に飛んでいる姿や、チュウシャクシギやゴイサギがエサを狙っている姿などが見られました。

とよみ大橋の上からは、クロツラヘラサギのエサ探しや、脚を前に折り曲げて眠っている姿など、おもしろい光景が見ることができました!!参加者一同クロツラヘラサギの眠り方には驚いたらしく、「鳥って凄いですねえ～。人間だったら骨折ですよ(笑)」と感嘆の声が上がりました。

観察を終えセンターに戻ると、漫湖で見ることができる野鳥のスライドをバックに山城先生に解説をしてもらい、各班の代表者が観察できた鳥の発表をして講座を終了しました。

この日は、天気も良く風もあったので野鳥観察にはうってつけの天気でした。いつもは気が付かない鳥の細かいしぐさが観察でき、新たな発見がいっぱいありました。



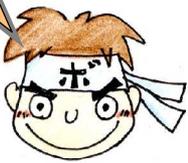
新しい仲間がふえました!!

* 5月26日 ボランティア説明会 *

今年度もボランティア説明会を行いました。新規のボランティアさんは6名でした!!

ボランティアの皆さん、緊張の面持ちで、職員の説明を真剣に聞いていました。その後、館内案内を受け、干潟に出る頃には、緊張もほぐれてきたようで、職員ともうちとけて会話する姿も見られました。

漫湖水鳥・湿地センターのボランティアは、既存のボランティアさんを含め12名となり、去年よりも人数も増えた分、活動もグレードアップして行きたいと意気込んでおります。よろしくお願いします



ラムサール条約登録湿地 / 名蔵アンパル

沖縄県内のラムサール条約登録湿地は漫湖のみでしたが、2005年11月、新しい仲間が2ヶ所加わりました。その中から、今回は「名蔵アンパル」を紹介します。

八重山諸島の中心にある石垣島は、沖縄本島の南方400kmに位置する亜熱帯気候の島です。

名蔵アンパルは、名蔵川河口部の東西1.5km、南北2kmほどの干潟で、マングローブ林、海浜および海岸林などで構成されている、多様な自然環境がひとまとまりになった、日本では貴重なタイプの湿地です。

この湿地は、オヒルギ、ヒルギモドキ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシなどのヒルギ科のマングローブ林が見れるほか、イシガキヌマエビやヤエヤママガニなど地域固有の希少種も多く、色々な種類のエビやカニの生息地となっています。

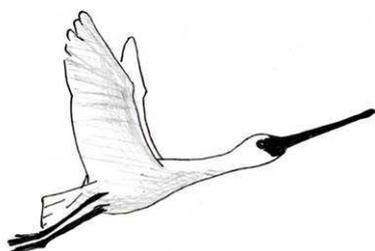
こうした豊富な生態系と安全な環境のおかげで、セイタカシギやクロツラヘラサギをはじめ、水鳥の渡りの重要な中継地点および越冬地となっており、その他にも、八重山諸島を北限とする、カンムリワシ、リュウキュウコノハズクなどの森林性鳥類の生息地ともなっています。太陽の下、散歩をしながらいろいろな発見をしてみましょう!!



漫湖水鳥かわら版 47

～ 5月 移り行く季節

5月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	5	
アマサギ	3	
ダイサギ	6	
チュウサギ	5	
コサギ	4	
アオサギ	6	
クロツラヘラサギ	2	
ミサゴ	4	
バン	1	
ムナグロ	10	
ダイゼン	1	
キョウジョシギ	2	
アカアシシギ	6	
アオアシシギ	11	
キアシシギ	64	
イソシギ	7	
オグロシギ	2	
チュウシャクシギ	6	
セイタカシギ	2	
コアジサシ	5	
カワセミ	1	
合計	153	



5月24日 クロツラヘラサギ

いよいよ暑くなってきた5月も2羽のクロツラヘラサギは、漫湖でのんびりすごしていました。しかし、5月24日に1羽を確認した後は、ぱったり姿を見せなくなりました。

朝鮮半島に帰っていったのか、それとも、まだこの周辺にいるのか…分かりませんが、無事渡りを終えたことを祈るばかりです。

また、ひょこっと顔を見せそうな気がします…

5月23日 マングローブの花

展望室からマングローブ広場を眺めていると、メヒルギの花が咲いているのを見つけました。

まだ1部分しか咲いていませんが、よく見るとつぼみがたくさんついています。

可憐な白い花がたくさん咲くのが楽しみです。



5月11日 キョウジョシギ

ライブ映像を動かしていると、おもしろい動きをしている鳥を見つけました。

キョウジョシギです。

チョコチョコ歩いて石を転がす、ちょこちょこ歩いて石を転がす…石を転がす姿が愛らしいです。

石を転がした後には、おいしいものが見つかったのでしょうか？



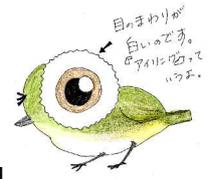
* 行事のお知らせ *

「沖縄の野鳥 写真展」

野鳥達の姿をととても身近に感じられる写真展です

日 時: 第1部 山野の鳥(20点)
平成19年6月16日(土)~7月1日(日)

第2部 水辺の鳥(19点)
平成19年7月7日(土)~7月22日(日)



場 所: 漫湖水鳥・湿地センターエントランスホール

写真提供:「沖縄野鳥研究会」「沖縄野鳥の会」

「探検・発見・ほっとけん~漫湖の水質調査をしよう~」

暑い夏が近づいてきました!!漫湖の水はどうなっているのかな??干潟の不思議をいっぱい発見しよう

日 時: 7月8日(日) 10時~12時

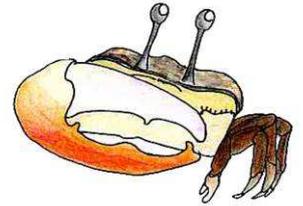
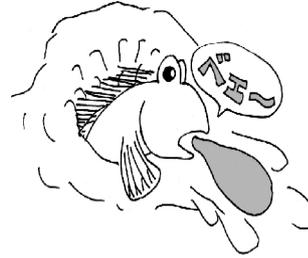
集合場所: 漫湖水鳥・湿地センター

対 象: 小学校1年生以上 *低学年は保護者同伴

定 員: 30名

費 用: 100円(保険料)

参加者持ち物 帽子・タオル・筆記用具



団体利用

5月

保育園・幼稚園

くまのこ保育園 那覇市

小学校

座安小学校4年 豊見城市

小祿南小学校6年 那覇市

伊良波小学校3年 豊見城市

高等学校

真和志高校 那覇市

大学・専門学校

沖縄国際大学 宜野湾市

医療・福祉関係

ディサービスなんくる 那覇市

その他

いつでも野鳥観察会 豊見城市

JICA

ボーイスカウト那覇第2団 那覇市

マンゲース会議

特別企画・自然観察会 「泥の中の生き物探し」

日 時:7月16日[月(海の日)]
13時~16時

集合場所:漫湖水鳥・湿地センター

対 象:小学校3年生以上

定 員:30名

費 用:100円(保険料)

参加者持ち物:タオル・帽子・着替え・飲み物・筆記用具 等

*泥だらけになる事が予想されます。

総入館者数: 80,990名

5月の入館者数: 1554名



*** 編集後記 ***

クロンちゃんも故郷に帰ってしまい、ちょっぴり淋しくなった漫湖。“今度はオイラの出番だぜ”とシオマネキが言いました。



広川

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市)>

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日:月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日) 年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp HP:http://www.geocities.jp/manko_mizudori/